

# 全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [ <https://www.zenhokyo.gr.jp> ]

## ー今号の目次ー

- ◆【調査協力依頼】子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 研究会・・・1
- ◆令和6年度福祉ビジョン21世紀セミナー開催のご案内(全国社会福祉協議会)・・・3

## ◆【調査協力依頼】子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 研究会

この度、「子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 研究会」（座長：淑徳大学 柏女 霊峰 特任教授）より、保育所および認定こども園におけるインクルーシブ保育の実態を把握するための調査の実施に向け、本会に調査協力依頼がありました。

本調査では、保育において障害のある子どもや特別な支援や配慮が必要な子どもが集団の中で共に過ごすことの良さや、困難さ・課題などの実態を把握することを目的としています。

ご回答いただいた結果は、報告書として取りまとめて公表されます。また、統計分析にのみ使用し、回答者の許可なく個々の保育所等が特定される情報が公開されることはありません。

ご多用の折、大変恐れ入りますが、会員の皆様へご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

### 調査内容:

「インクルーシブ保育における現場の課題・ニーズ・外部支援に求めるものに関する実態調査」

**回答期限:**

2024 年（令和 6 年）9 月 20 日（金）15 時まで

**主催:**

子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究 研究会

**調査内容に関するお問い合わせ先:**

社会福祉法人麦の子会 PRD 室推進事業 事務局（下記参照）

**回答フォーム URL:**

下記リンク、または QR コードからアクセスください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScIKsYfF2oB1I3-XR5mRV4zDHhf71cp0CEPbtWAIwRhIaA7mw/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScIKsYfF2oB1I3-XR5mRV4zDHhf71cp0CEPbtWAIwRhIaA7mw/viewform?usp=sf_link)



※回答フォームからの回答が難しい場合は、別添エクセル表にて回答いただき、お問い合わせ先のアドレスまでご提出をお願いいたします。

**調査内容に関するお問い合わせ:**

社会福祉法人麦の子会 PRD 室推進事業 事務局（担当：尾西 様・志智 様）

E-MAIL：muginoko.inclusion@gmail.com

電話：080-7618-7771

（電話対応：火・水・木曜日 9:00～17:00）

## ◆ 令和 6 年度福祉ビジョン 21 世紀セミナー開催のご案内(全国社会福祉協議会)

団塊ジュニア世代が高齢者となる「2040 年問題」が近い将来の現実として迫り、加速する少子高齢化は、地域社会におけるさまざまな問題の起因となり、深刻な孤独・孤立の状況を生じさせる等、人びとのつながりは希薄化しています。

従来の制度的枠組みでは支援が行き届かない状況も生まれてきているなか、必要な支援が届いていない人びとをいかに見つけ出し、支援につなげていくことができるのかが問われており、多様化・複合化する生活課題に対応する包括的な取組が求められています。

事業所の撤退等により将来的に福祉機能を維持することが困難な地域もあり、社会福祉協議会、社会福祉法人や民生委員・児童委員等地域の福祉関係者が連携・協働する取組や、事業の多角化・多機能化を踏まえた制度的枠組みを超えた取組など、最後まで地域を支えるために、福祉関係者にはその役割の一層の発揮が期待されます。

本セミナーでは、「全社協 福祉ビジョン 2020」のめざす「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、連携・協働を図りながら、地域でどのような支援を創り、展開していくのか、社会福祉法人・福祉関係者の取組の推進を展望することを目的に開催いたします。

社会福祉法人・福祉施設、社協、行政、研究者、民生委員・児童委員はじめ、多くの方々のご参加をお待ちしております。

テーマ：『ともに生きる豊かな地域社会』に向けた連携・協働

～多様化する生活課題に対応する包括的なつながり・支援～

【日時】令和6年10月9日（水）10:15～15:30

【実施方法】対面：全社協・灘尾ホール（新霞が関ビル LB階）

オンライン：ライブ配信※アーカイブ配信なし

【受講料】15,000円（1名につき）

【プログラム】

講演	「地域共生社会に向けたこれからの取組のために 福祉関係者が大切にすべき視点（考え）」 中央大学 教授 宮本 太郎 氏
実践報告	『『ともに生きる豊かな地域社会』に向けた連携・協働 ～多様化する生活課題に対応する包括的なつながり・支援～』  【進行】全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一  【パネリスト】 ○「官民の多機関が集うプラットフォームを基盤とする孤独・孤立対策」 広島県・尾道市社会福祉協議会くらし支援課 係長 高橋 望 氏

	<p>○「市社協の強みを活かした市内小規模社会福祉法人の連携・協働の構築」 静岡県・袋井市社会福祉協議会 地域福祉係 主任主事 杉 亜佑美 氏</p> <p>○「世代や分野を超えてつながり、地域をともに創っていく」 社会福祉法人悠々会 共生社会推進室 室長 鯨井 孝行 氏</p> <p>○「法人内外の垣根を越え地域とともに活動を展開する」 社会福祉法人奥州いさわ会 事務局次長 小原 守 氏</p>
--	--

【申込締切】令和6年9月25日（水）

【申込方法】下記 URL より申込サイトへアクセスのうえ、お申込みください。

申込サイト：<https://www.mwt-mice.com/events/fukushi241009>

（手話通訳をご希望の方は、申込サイトよりご登録をお願いいたします。）

【開催要綱】全社協ホームページでも公開しております。

<https://www.shakyo.or.jp/seminar/index.html>